

県医労新聞

2018年4月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>
編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1934号(月刊148号)



目次

- 1 P 新採用者のみなさんへ
 - 2 P 新採用でも労働者
 - 3 P 東日本大震災津波7年のつどい
祈りの灯火
 - 4 P 日本医労連国会行動
岩手医労連36協定等担当者会議
さようなら原発岩手県集会2018
 - 5 P 女性部ニュース
 - 6 P 青年部ニュース
 - 7 P つぶやき、とんがらし
2月号パズル当選者
 - 8 P 退職者インタビュー
 - 9 P お知らせ
 - ◇2018ナースウェーブ集会
 - ◇ろうきん
- 懸賞パズル 4・5月の予定



「東日本大震災津波7年のつどい」オープニングの
「なもみ太鼓」(3月17日)

新採用者のみなさんへ

中央執行委員長 中野るみ子



ようこそ
県医労へ

ご就職おめでとうございます。

岩手県医療局労働組合(県医労)は、心からみなさんを歓迎します。人生における新たな第一歩。期待と緊張の日々ではないでしょうか？

職場では、「おぼえることがたくさん!」。「大丈夫かな?」と少し不安に感じたりしていませんか? 誰でもみんな同じです。一ヶ月後、二ヶ月後にはきっと今と違う自分がいて、笑顔が増えていたり、躊躇なく話しかけられる自分に気づくと思います。まずは環境に慣れることが大事と、自分自身を励まして欲しいと思います。

東日本大震災津波から7年余。津波により全壊した3つの県立病院の再建が実現し、多くの方々が喜び、期待を寄せています。自らが被災しながら、寒い屋上でのお世話や搬送など患者さんを第一に行動し守った仲間、私たちの誇りです。県医労は、元気で働きやすい職場・働き続けられる職場をめざして活動しています。より良い職場にしていきたい、みなさんの力が必要です。県医労に加入し、仲間として一緒に力をあわせていきましょう!

女性部

女性部書記長

〇〇〇〇〇



女性部は『楽しく活動』を目標にしています。温泉旅行やおいしいものを食べながら、誰もやさしく教えてはくれない女性の権利・母性保護等々も学びます。みんなで集まって、『グチ』を磨いて要求にしましょう。

青年部

青年部長

〇〇〇〇



みなさん、初めまして! 青年部では様々な行事を通して同じ病院内だけではなく、他の県立病院、他県の人とも交流できる機会があります。いろんなところに仲間を作って、楽しいことや悩みを共有していきましょう。

みんなで一緒に楽しい思い出を作っていけたら嬉しいです。

～新採用でも労働者～

研修の期間でも働いた分は しっかり超勤請求しよう!

ようこそ県病へ

新採用者・転入者を迎え、職場は新体制でスタートしました。新しい環境では、勝手がわからず戸惑いも多いものです。疑問や問題は遠慮せず職場の先輩にたずね、迎える側も積極的になんげをかけ、不安を解消してあげましょう。

労働組合って何?

県立病院には、正規職員の約7割（医師を除く）が加入する「労働組合」があります。正式名称は「岩手県医療局労働組合（略称「県医労」）。看護はもちろん医療技術や事務、栄養管理など、職員であれば臨時職員やパート職員であっても加入できます。

県医労では、労働条件の改善と労働者の生活向上を追求し、組合員とその家族の福利厚生も行っています。

年次休暇は 個人の「権利」 です



「年次有給休暇」は、個人が自由に取得できる休暇です。病気休暇などとは違い、取得に特別な理由は一切不要。行事や予定が特になくても、休みたい時に請求できます。個人の「権利」であり、病院長や職場上司から「もらう」ものではありません。「年次はあげられない」などと平気で言う職場管理者がたまにいますが、それは大きな間違いであり権利侵害です。

交代制職場では、勤務表作成時に「休み希望」として、他職員と事前調整していますが、あくまでも年次取得の正式ルールは「有給休暇処理簿」に記入し提出すること。使用者側には、休暇を別の日に変更させる権限（時季変更権）がありますが、あくまでも「病院の事業運営に著しい支障がある」などの、特別な場合に限定されています。

す。権利など様々な学習活動、旅行や食事会などの文化活動もあり、青年部（30歳までの組合員）では季節に応じ、キャンプやスキー・スノーボード交流会なども実施しています。ぜひ労働組合に加入し、一緒に学び親睦を深めましょう。

慣れない仕事は時間がかかるもの。仕事の手順や物品の場所を覚えるだけで精一杯かもしれません。でも

帰宅時刻になっても仕事

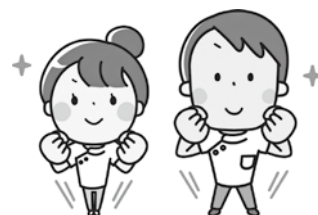
終わらない時、あなたならどうしますか。そのまま帰宅できればいいのですが、実際にはそうもいきません。もちろん基本は定時で帰ること。仮に時間外まで働いた場合には、別途手当が発生します。

定時に帰ろう

超勤は請求しよう

時間外労働のことを「超勤（超過勤務）」とも言います。日勤なら始業8時30分前、終業17時15分以降は

もちろん、昼休憩（60分）に休めない分も全て「超勤」です。「働いた分は請求する」のは当然で、新人であっても法律での区別はありません。もれなくきちんと請求しましょう。



あの恐ろしさを 忘れてはならない

～東日本大震災津波7年のつどい～



講演する小田祐士野田市長



シンポジウムの様子

復興県民会議主催の「東日本大震災津波7年のつどい」が3月17日、野田村総合センター大会議室で開催され、全体で130名、県医労から3支部・本部9名が参加しました。

オープニングでは、地元なもみ太鼓の会による迫力ある太鼓が披露されました。小田祐士野田市長による記念講演「東日本大震災・津波からの復興の軌跡」野田村のあゆみは、最初に「3・11の恐ろしさを忘れてはならない」と当時の野田村沿岸から襲ってくる津波の映像が紹介されました。野

田村は復旧のスタートが早かったと言われる背景には、小さい自治体であることと、被災者が財産放棄をしてくれたことが大きかったとのこと。了解してくれたことで自宅の解体作業が始まりました、遺体捜索が進み3月28日には全員の遺体確認が出来た、と。地元の医師の存在の大きさも話されました。防潮堤や津波浸水区域の利活用、土地区画事業についても紹介し、「津波防災緑地や高台団地など事業はほぼ終わった。コミュニティ形成には時間がかかるけれど、仲間なので大丈夫と考えている」と語りました。

4名のシンポジストによるシンポジウムで「地域づくり協議会元会長」の外館さんは、地権者の意見を集めて村と話し合い、土地区画整備事業に反映させた5年間の活動を報告。村に対し「宅地の空き地が多く地



祈りの灯火2018

東日本大震災7年行事

東日本大震災津波から7年目の3月11日、盛岡市のもりおか歴史文化会館前広場で、犠牲者を悼む「祈りの灯火」が行われました。いわて労連は今年も竹灯籠を飾り、復興への思いを新たにしました。

域活性化が心配。利活用支援をして欲しい」と、県に対しては「防潮堤、防潮林の早期完成を」と要望しました。新町町内会会長の中野さんは「災害公営住宅（戸建て）は5年で買い取れるが、建設費高騰で2〜3倍になりそうだ」と不安の声を紹介。地域活動の担い手やコミュニティの大事さ、笑顔あふれるまちづくりへの思いが語られました。津波

から園児を避難させ守った野田村保育所からは、保育士の茂石さんと澤里さんが発言。「日頃の訓練が力を発揮した。全壊した保育所は高台に新築され、村の避難場所になった」と述べました。今後のお知らせで、復興県民会議の金野耕治事務局長が「被災者住宅再建支援金を500万円に引き上げる署名を大きく広げよう」と訴えました。

足りない看護師 改善しない現状に怒り

日本医労連対政府交渉



政府と交渉する医労連の要請メンバー

3月6、7日、日本医労連中央行動・国会議員要請と政府交渉が行われました。夜勤改善・大幅増員の実現、社会保障の改悪阻止を求める行動に、全国から275名(岩手からは8名、内、県医労から2名)が参加しました。

1日目は、岩手選出の国会議員を訪問し、「夜勤改善・大幅増員署名」(岩手医労連分)を届けて懇談しました。

2日目の看護交渉には、43名が参加し、厚労省からは医政局と労働基準局が対応しました。看護職員の確保や労働条件の改善について医政局担当者は、「現状では看護職員の確保法改正の予定はない。引き続き財政支援していきたい」と回答しました。

また、医政局担当者は「試算からみても看護師が不足しているのは事実」と認めた上で、需給分科会での議論として①新規養成、②離職防止、③復職支援の3つ

を看護職員確保対策として行っていると述べました。交渉団は、確保法基本指針が示す月8日以内夜勤が守られておらず、月13回も夜勤に入っている実態や、現場は人手不足・過密労働で耐えられない状況を伝え、「人手不足を認識しているのなら、そこから議論をスタートし直すべきである」と訴え、「現場の声を反映させ議論してほしい」と強く要請しました。

健康は本人と家族のために 36協定・安全衛生委員会担当者会議

3月3日(土)、岩手医労連主催の「36協定・安全衛生委員会担当者会議」が盛岡市の都南公民館で開催され、6支部・本部15名、岩手医労連全体で35名が参加しました。

日本医労連・労安対策委員で盛岡医療生協安全管理者の〇〇〇〇さんが、活動の目的やメンタルで休業をよぎなくされた職員の職場復帰の支援について講義。不調者の早期対応・ラインケア(個別の指導・相談)が重要で、労働者の健康は、本人と家族のためにあると話しました。そして衛生委員会は、労使交渉の場でもあり労働組合の役割が発揮出来る場でもあると話しました。続いて全医労岩手地区協議会議長の〇〇〇〇さんが、「36協定の進め方」について話し、「36協定は、労働者にとって最大の武器です。交渉は『退かず、媚びず、容赦なく』要求実現のためには情け無用」と力強く訴えました。注意点の一つとして、36協定はすぐ締結しないことが重要だと話しました。



さようなら原発 岩手県集会2018

3月10日、東日本大震災津波から7年を前に、盛岡劇場で「さようなら原発岩手県集会2018」が開催されました。集会には350人が参加。弁護士で映画監督の河合弘之さんのパワフルな講演のあと、盛岡市内を「原発再稼働反対!」「子どもを守ろう!」「東北電力原発やめて!」とサウンド・デモで訴えました。

原発
いらない!





世界の女性と手をつなぎ 今こそ行動を!



講師の後藤宣代さん

差の中で、連帯して立ち上がるのは女性たちである。今や、女性蔑視は、世界中を蔑視することにつながる。声を上げ、行動し、グローバルにつながろう」と語りました。

3月8日は国際女性デー。男女平等・女性の権利、平和を求め世界の女性たちと連帯する日です。今年の国際女性デーは、ハリウッド女優が発した「#Me Too」などに象徴されるようにセクハラ問題や女性に対する暴力、差別撤廃の機運の高まりの中で開催されました。

基礎経済科学研究所副理事長の後藤宣代さんが、「トランプ時代とジェンダー平等」をあげ続ける世界の女性たち」と題して講演しました。

「UN Woman」(ジェンダー平等と女性のエンパ

3月3日土曜日、盛岡市で女性5団体(ピースアクションいわて)による「ひな祭りレッドパレード」が行われました。子ども連れの若いお母さんなど約40人が参加し、大通を「憲法改悪反対」「女性は戦争絶対いやだ」「子どもに平和な未来を渡そう」などとコールしながらパレードし、9条改憲の危険性をアピールしました。

続いて、県革新懇が「アベ政治を許さない!」と毎月3日に行っている「3の日行動」に合流し、「安倍9条改憲NO!」「アベ政治を許さない!」とコールを繰り返し、スタンディング行動で訴えました。同時に、「3000万署名」にも取り組みました。



岩手医労連ウインターアクト

署名活動の大切さを実感 青年の想いに集まった98筆

3月17日（土）、岩手医
労連青年部のウインターア
クトin盛岡が開催され、全
体で24名、県医労からは4
支部・本部7名が参加し、
署名活動やボウリング・夕
食交流会を通して絆を深め
ました。

署名活動では、昨年と同
様に京都市医連が作成した



グループワークで署名について学習

動画を視聴し学習。視聴後
は6つのグループに分かれ
て、街頭署名をする上での
不安なことを出し合った
り、署名を集める意義や目
的を共有しました。グルー
プワーク後は、去年参加し
た経験者から署名活動のポ
イントをアドバイスしても
らい、いざ街頭宣伝へ向か
いました。取り組んだ署名
は、「安全・安心の医療・
介護の実現と夜勤交替制労
働の改善を求める国会請願
署名」。まず青年部長がマ
イクを握り、署名の趣旨に
ついて説明。続いて、グ
ループの代表者が交代しな
がら、職場の実態を訴えま
した。冷たい風の中、なか

なか立ち止まって署名して
くれる人は少なかったので
すが、「署名に協力します！
がんばってください」とい
う励ましも受けながら、約
45分間の取り組みで98筆の
署名を集約することができ
ました。

終了後は、会場をラウン
ドワンに移してボウリング



現状を訴え、署名していただきました

交流会。署名のグループに
分かれてチーム対抗戦をし
ました。あつという間の2
ゲームは大いに盛り上がり、
楽しむことができました。

夕食交流会では、単組紹
介が行われ、署名活動やボ
ウリング交流会の感

想を交流しました。

署名については、「実
際に断られると悲し
いけど、書いてもら
えた時は本当に嬉し
くなる」、「たとえ一
筆でも、その一筆が
とても大切だと感じ
た」、「署名活動には
積極的に参加するよ
うにしたい」など署
名を訴えることの大切
さとともに楽しさを
共有しました。

また、今年行われる「み
ちのくアクトin岩手」の紹
介ムービーを見ながら、9
月はアクトに必ず結集しよ
うという意思統一をしまし
た。



最後は、「9条にカンパイ」
のプラカードを持って記念
撮影。平和だからこそ、自
由に活動できることを改め
て認識し、時間の許す限り
楽しく過ごしました。



「憲法9条にカンパイ！」

つばざき

「2時間以上の超勤は書くな！健康管理上心配だから」etc.:。前月の超勤トップ3をメール発信する。何かがおかしいです。

中央支部 おひなさま:

青年部の活動はいつ見ても楽しそうだなと思います。ぜひ、職場にもこのような楽しさがほしいです。笑って仕事をする時間が増えたら、これほど良い職場はないと思います。

南光支部 ○○○○

今年は寒さ&雪で大変ですね。春が待ち遠しいです。新年度が笑顔で迎えられるように!! スタッフ増員を願います。

中央支部 ハニオ

現在、妊娠中ですが、

安心して働き、産前休暇に入ることができるよう、組合に相談に乗ってもらいました。困った時は、やつぱり組合!

二戸支部 ちよこ

「外来案内表示システム」導入。本当に必要なものは、人員:。

中央支部 金メダルおめでとう

本の購入はネットが多いため、図書券を利用することがありません。できればクオカードの方が

当選者発表

2月号パズル

2月号パズル「まちがい7つ」には25名の応募があり、24名が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

■2月号当選者(敬称略)
ひたすらトド(二戸支部)、ももま、ミルンちゃん(以上、中央支部)、おひなさま:(中部支部)、みかん娘(江刺支部)、シラネアオイ(南光支部)、みっちゃん(大東支部)、コロちゃん、はなちゃん、(以上、大船渡支部)、みたママ(宮古支部)

ありがたいです。

一戸支部 ひたすらトド

なんとなくパツとしな日々、オリンピック選手キラキラがまぶしい。

久慈支部

ぽつくんかあさん



とんがらし

春・新年度。

職場は慌ただしくも転入者・新採用者を迎え緊張感と明るさが交錯する状況でしょうか。労働組合は元気に、いきいき働

き続けられるようお願いしています。自分自身を守る権利についても学び、つながりを大事にして、政治や社会にも目を向ける。労働組合を通じ、全国の仲間と政府交渉にも参加しています。「人手を増やして欲しい」「サービス残業をなくしたい」など、仲間の要求は実は全国共通だったりします▼フリーアナウンサーの吉田照美さんは「今は国民一人ひとりが政治に関心を持たなければいけない時代」「政治のことを話すと煙たがられる雰囲気があるけど、それでは1%(大金持ち)のた

めの政治は変わらない。だから、みんなでどんどん発言するべきだ」と言います▼

組合は今、「安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名(3000万署名)」に取り組んでいます。憲法9条は、世界の宝。なのに、改憲の緊迫した動きがあります。医療従事者が戦争ストップの行動に立ち上がるのは、歴史的使命から。過去の戦争で痛苦の経験をし「再び白衣を戦場の血で汚さない」と決意したから。仮に戦争になったら、軍費はさらに膨らみ、削減され続けている社会保障予算は更に削減されます▼「昨年9月『戦争法』強行、去年は『共謀罪』残るは憲法9条に『自衛隊』を書き込んで戦争する国の総仕上げをしたいらしいよ、アベ首相は。だから、憲法9条を守りたいの。3000万署名をお願い!」、私はそう訴えたい。(る)

「治療して良かった」

その言葉に励まされ続けて

震災から7年

退職者インタビュー

〇〇〇〇さん
(山田支部)

3月末で定年を迎えた理療士の〇〇〇〇さん。中学でこの仕事で生きると決め、県立病院に就職。以来、山田病院で働き続け、組合活動で職場の仲間とも交流を深めました。〇〇さんにこれまでの活動をふり返っていただきました。



被災した山田病院から持ってきたマッサージ台の上で

理療士になったきっかけ

〇〇さんは、小学生で弱視が判明。3年生までは、一番前の席や、教師の横で授業を受けました。4年生になるときに、両親が盛岡の盲学校への転校を決めました。全寮制で、子どもたちだけで過ごす学校です。中学、高校、そして鍼灸専攻課の3年の計12年間を寮で暮らし、そのときの仲間とは、きょうだいのようになりました。

何事にも臆せず

卒業するときに、担任から県立山田病院で理療士の仕事があることを紹介され、就職しました。学校の行事や家族旅行などで、釜石や高田松原などを訪れたことはありましたが、山田町

組合活動の思い出

その先輩から組合加入を勧められ、県医労の組合員になりました。岩手公園での集会やデモ、町内のメーデーや署名行動などに参加してきました。楽しかったのは病院や支部主催の旅行。仙台市内観光や青森のさくらんぼ狩りに、みんなと参加したのはいい思い出です。

は未踏の地。でも、寮で一人暮らしをしてきた〇〇さんは、臆せず単身で学校が手配してくれた山田町のアパートで一人暮らしをスタートさせます。

山田病院の老朽化で、病院が2006年に新築移転。そのわずか5年後に起きたのが、東日本大震災津波でした。〇〇さんも患者さんの対応中にかつてない大きな揺れを感じ、ただちに津波に備えて避難を開始します。しかし、大地震の影響で停電となり、エレベーターが使えず、車椅子の患者さんは椅子などに移して階段を使つて2階に。さらに大津波の恐れもあり、自分で歩けない患者さんはシーツに包んで、狭いらせん階段を使つて屋上に避難。夜は真つ暗な2階の病室で過ごしました。幸い全員が無事でした。

〇〇さんは、自宅や家族も無事でした。4月からは1年間、再任用で働きます。その後は、旅行を楽しみたいと思いをめぐらしています。「船で北海道へ」「キャンプで夫婦で旅行」。最近はずりにも弱くなっているため、体力作りにも励みたいと、抱負を語っています。

新入社員の方、30歳以下の方を応援します!

フレッシュヤーズ キャンペーン

FRESHERS CAMPAIGN 2018 3/1 → 9/30

与えよう! 賞品と特典お宝庫

- 給与振込口座
- カードローン
- ろうきんダイレクト
- ろうきんEpiカード

QUOカード (500円分) 2,500円分

【QUOカードプレゼントの対象となる方】新規採用の方および30歳以下の社会人の方
当金庫に普通預金口座(総合口座含む)をお持ちの方でキャンペーン期間中に上記の対象取引を
ご契約された方にQUOカード(500円分)をプレゼント!!

いのち・暮らし・看護を守るために 2018 ナースウェーブ集会

5月19日(土)13:00~16:00
岩手県公会堂 2階26号室

♥ 特別講演

講師 尾崎恵子 さん(元客室乗務員)

♥ リレートーク

♥ 白衣のパレード



懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの
間違い箇所を印をつけ、
ハガキに貼付して、応募し
て下さい。正解者の中から、
抽選で10名の組合員に図書
カードを送ります。送る先
は〒020-0023 盛岡市
岡内丸1-1、県医労「懸
賞パズル」係まで。締切は
4月末日(必着)です。ま
た、抽選には関係ありませ
んが、ハガキの余白に「つ

4月の予定

- 7日(土) いのちと健康を守る岩手県センター・
全県代表者会議・学習会(県公会堂)
- 14日(土) 支部長会議(水産会館)
- 21日(土) ~ 22日(日)
いわて労連青年学習交流会(盛岡市)
退職者をねぎらう集い
(秋田県大仙市たざわこ芸術村)

5月の予定

- 1日(火) 第89回メーデー
- 3日(木・祝) 憲法記念日のつどい(盛岡市総合福祉センター)
- 19日(土) ナースウェーブ集会(県公会堂)
- 26日(土) 支部長会議(水産会館)



まちがいは7つ



「ばやき」(職場の話題など何
でも)を、ぜひ一言書き下
さい。県医労新聞で紹介す
る場合がありますので、匿
名希望の方は必ずペンネー
ムをお書きください。ただ
し、当選した場合は、記念
品の送り先が必要となりま
すので、支部名・本名の記
入をお忘れなく!

